

東青
みどりの通信 No.97
平成25年
5月10日

東青地域県民局地域農林水産部
■ 農業普及振興室 ■
〒030-0801 青森市新町二丁目4番30号
TEL 017-734-9965 FAX 017-734-8305
E-mail hi-nosui@pref.aomori.lg.jp

平成25年度に向けて 農業普及振興室長 大橋統州

寒く長い冬を忘れたように、農作業に忙しい時期となりました。
2年続きの大雪や昨年夏の記録的な高温など、我々農業関係者にとっては天候不順の年が続き、これも地球温暖化の影響かとこれからの天候に思いをはせるところです。
また、農業情勢もTPP問題など予断を許さない状況にあります。
たとえどのような状況や天候であろうとも、農業生産に携わる生産者や関係者にとって、基本姿勢は品質の良い安全・安心な農産物を生産し、消費者に提供していくことです。
そのために、生産者の皆様には、基本技術の励行やコスト低減、法人化など地域や個人の状況に合った取組を進め、安定した農業経営を確立し、後継者の確保に努めていただきたいと思います。
普及振興室でも生産のみならず、加工、販売を結びつけた6次産業化、「人・農地プラン」や地域経営の取組等を軸とした担い手の育成についても、国や県の制度・事業の活用に関する情報を提供し、相談を受けております。
事は一朝一夕に成るものではありませんが、生産者の皆様の取組を市町村やJA等関係機関と連携して支援して参りますので、今年度もよろしくお願ひします。

東青の味加工産直ネットワークの設立

農漁家の加工グループ等で組織していた「東青農水産物加工協議会」と産直運営団体等で組織していた「青森ふるさと産直ネットワーク」は、更なる発展を目指し、本年3月6日、合併により「東青の味加工産直ネットワーク」（会長：道の駅なみおか駅長 小笠原一氏）を新たに設立しました。

ネットワークでは、旧組織のそれぞれの強みを活かしながら、加入団体の協働活動によって、農林水産物の生産から商品開発、販売までの6次産業化を目指しています。合併により加工グループでは販路の拡大、産直施設では品揃えの充実等が可能となりましたので、各団体の売上向上と後継者確保につながるよう、農業普及振興室では活動を支援していくこととしています。



多くの会員が出席した設立総会

東青の「新鮮野菜」販売戦略研修会

去る、平成25年2月28日に東青の「新鮮野菜」販売戦略研修会を開催しました。この研修会は、農業普及振興室がJA青森と連携し、自給的野菜の商品化を推進し、地産地消の活動を活性化させていくために行ったものです。まず、基調講演としてNPO法人プラットフォームあおりの理事長 米田大吉氏から「地産地消に向けたこれからの農産物の生産・販売について」の講演していただいたほか、当室から野菜の購入に当たっての消費者意向調査の結果等について説明しました。
生産者からは、商品の「ストーリーづくり」を進めたい、生産者が連携し目標を持って作付けをしていきたいなど活発な意見が出されました。



各市町村で「人・農地プラン」が作成されました

「人・農地プラン」は、地域が抱える「人と農地の問題解決」のため、地域の話し合いと合意により、中心経営体や農地の出し手、今後の地域農業のあり方などの内容を取りまとめるものであり、平成24年度から取組がスタートしています。
3月までに、青森市19地区、平内町3地区、外ヶ浜町2地区、今別町3地区、蓬田村7地区でプランが作成されました。この「人・農地プラン」は、必要に応じて、随時見直しができることとされています。

「人・農地プラン」に掲載されることで、次のようなメリットを受けることができます。

- ① **農地集積協力金**
農地利用集積円滑化団体等を通じて農地集積に協力する者(出し手)に交付する。
 - ・協力する農家の農地規模ごとに交付
0.5ha以下 30万円/1戸、0.5ha超2.0ha以下 50万円/1戸、2.0ha超 70万円/1戸
 - ・中心となる経営体の農地連担化に協力する農地面積ごとに交付 5,000円/10a
- ② **青年就農給付金**
原則45歳未満の独立・自営就農者(親からの経営継承を含む)に給付する。
 - ・年間150万円を最長5年間給付
- ③ **スーパーL資金の金利負担軽減**
認定農業者が借り入れるスーパーL資金の金利を当初5年間無利子化
- ④ **経営体育成支援事業**
 - ・中心経営体が機械や施設を導入する際、融資残について補助金を交付
 - ・融資を活用して経営改善・発展に取り組む場合に補助(事業費の3/10 上限)
- ⑤ **その他**



青森市後潟地区の話し合いの様子

①の受け手となる中心経営体等は、規模拡大交付金20,000円/10aを受けることができます。

※「人・農地プラン」に関することは、市町村又は当農業普及振興室にご相談ください。



平成25年度農業普及振興室の

農業普及振興室長



農業普及振興室長
大橋 統州
(室の総括)



企 画 班



総括主幹(副室長)
山田 隆
(班の総括)



主幹
野呂 賢一
(経営所得安定対策)

経営・担い手班



主幹(副室長)
蛸島 基
(班の総括)



主幹
工藤 マサ子
(グリーン・ブルー・ツーリズム)



主幹
神 紀子
(女性リーダー育成・直売)



主幹
若宮 英夫
(経営・担い手)

生 産 班



主幹(副室長)
高田 浩美
(班の総括)



主幹
横山 順一
(花き振興)



主幹
坂本 康純
(果樹振興)

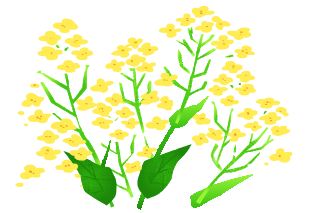


主幹
成田 真樹
(稲作振興)

春の農作業安全運動

農作業事故の多くは、トラクター操作によるものです。ヘルメット着用や袖口など服装を整え、周囲に気をくばり、慎重に作業しましょう！

職員を紹介します！



主査
扇田 琢哉
(耕作放棄地・GAP)



主査
阿部 佳枝
(エコファーマー・食品表示)



専門員
工藤 茂
(農地制度)



専門員
秋元 淑宏
(特別栽培・環境保全)



主査
成田 昌幸
(4HC・新規就農)



技師
鈴木 千春
(育児休暇)



専門員
神 久夫
(経営構造対策)



臨時事務手
原 あゆみ



主査
木村 一哉
(野菜振興)



主査
金野 加奈
(畜産振興)



技師
秋田 奈津子
(果樹・そば)



専門員
小林 一三
(畜産振興)

山火事防止

タバコの投げ捨てや、たき火等の不始末に一人一人が注意し、山火事を防ぎましょう！

山菜採り等事故防止

予め家族等に行動予定を連絡し、単独の入山はやめ、万全の装備をし、安全を優先しましょう